

水産物の市況について(令和4年12月及び令和5年1月)

—東京都中央卸売市場における令和4年12月(令和4年11月21日～令和4年12月20日集計)の市況と、
令和5年1月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和4年12月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比ではやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から強含みで推移し、前年同月比ではかなり強含みで推移しました。

II 令和5年1月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量は銀さけ主体に減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

東京への生鮮品の入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。東京への冷凍品の入荷量はやや増加し、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

東京への入荷量は横ばい、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では減少し、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	12月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
4年	29	1,671	30	1,443	27	1,450
前年	32	1,362	33	1,232	30	1,153

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	12月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	641	102	111	146
さけ類(平均)	1,389	101	124	132
(ぎんざけ塩蔵品)	1,356	106	136	139
(あきさけ塩蔵品)	1,140	102	117	134
(べにざけ塩蔵品)	1,433	81	86	93
(さけ類冷凍品)	1,411	101	125	138
さば(生鮮品)	639	107	149	147
するめいか(平均)	1,166	101	114	130
(生鮮品)	1,198	101	109	130
(冷凍品)	1,080	100	116	130
あじ(生鮮品)	571	97	113	103
まぐろ(冷凍品)	2,005	97	106	118
(めばち冷凍品)	1,456	101	110	124
(きはだ冷凍品)	1,337	98	124	121
(くろまぐろ冷凍品)	4,060	99	111	122
(みなみまぐろ冷凍品)	2,459	94	117	123

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:12月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成29年～令和3年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 賛田、西村

直通 03-3591-5613